

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



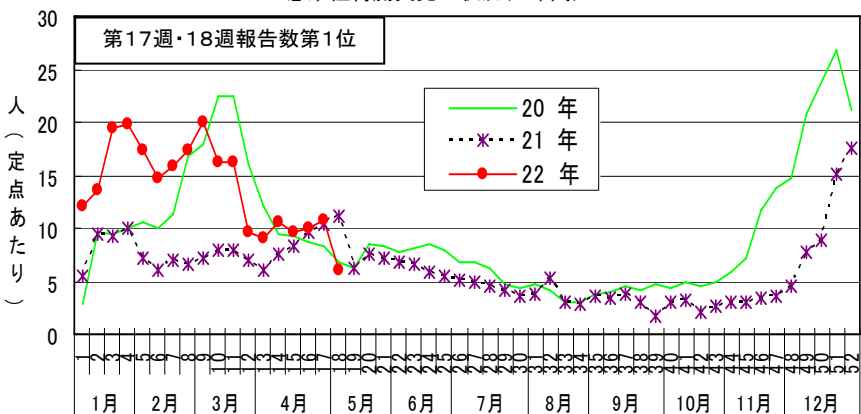
KAWASAKI CITY

平成22年4月26日（月）～5月9日（日）〔平成22年第17週・18週〕の感染症発生状況

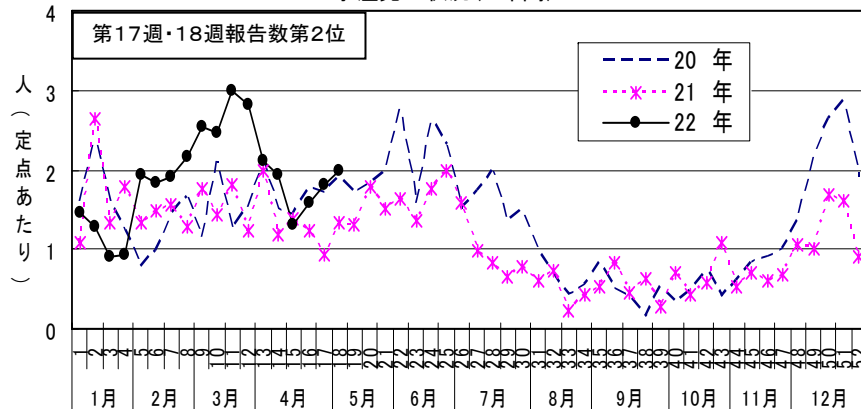
第17週・第18週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。

第18週の報告数は全体的に減少しております。その理由として、第18週はゴールデンウィークのため休診となっていた医療機関が多かったため、報告数が減少したと推測されます。その中で、手足口病や咽頭結膜熱（プール熱）などの例年夏期に流行する感染症の報告数は増加しており、これらについて今後の動向に注意する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



## ～手足口病に気をつけましょう（流行の兆し）～

乳幼児を中心に例年夏期に流行をしめすウイルス性疾患の手足口病の患者数が、全国的に例年を上回るペースで患者が急増しています（グラフ参照）。このまま例年の流行ピークである7月まで患者数が増加し続けた場合、今年は大きな流行規模をみせる可能性があります。

手足口病の特徴を知り、感染しないように、また感染させないように対策を心がけましょう。

### 主な症状は？

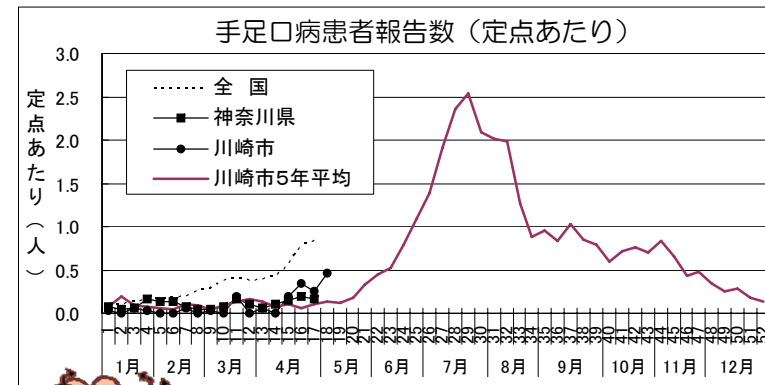
潜伏期間2～7日（平均3日）経過した後、手のひら、足の裏、口の中などに1～1.5mm程度の水泡のある発疹がでます。発症者の1/3程度に軽い熱が出ることがありますが、高熱が続くことは通常はありません。基本的には1週間以内に自然治癒する疾患ですが、まれに髄膜炎・脳炎などの症状が出る場合があります。

### 感染経路は？

せきやくしゃみなどで飛び散るしぶきの他、便や水泡の内容物が感染源となります。症状が回復しても2～4週間程度は便からウイルスが排泄されることがあるので注意が必要です。

### 主な感染対策

特別な治療はなく、安静・水分・栄養補給を行います。口の中に発疹ができると痛くて食事を嫌がる場合がありますが、脱水症状を防ぐために食事を工夫して水分を十分とれるようにしましょう。また、まれに髄膜炎や脳炎を起こしますので、元気がない、高熱、頭痛、嘔吐などの症状がある場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。



### ～気をつけたいこと～

ウイルスに汚染された手指からの感染を防ぐために、日常から手洗い（特に排泄物を取り扱った場合）を心がけましょう。

感染予防の基本は  
やっぱり手洗い！！

